



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 株式会社ヒガシマル 上場取引所 福
 コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 勤
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 種子田 浩市 (TEL) 099-273-3859
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	6,007	△17.7	287	△19.3	349	△10.3	207	3.9
30年3月期第2四半期	7,299	8.8	355	△0.6	389	2.3	200	16.0

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 215百万円(△4.5%) 30年3月期第2四半期 226百万円(20.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	44.47	—
30年3月期第2四半期	42.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	12,654	6,099	48.1
30年3月期	11,946	6,153	51.4

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 6,089百万円 30年3月期 6,139百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,808	△12.9	326	△10.7	425	3.8	270	104.6	58.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	4,746,000株	30年3月期	4,746,000株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	240,889株	30年3月期	40,889株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	4,671,231株	30年3月期2Q	4,705,111株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ、「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、一部地域において、夏場に相次いだ自然災害の影響がみられるものの緩やかな回復傾向を維持しています。また、雇用環境に関しては引き続き改善傾向を示しています。しかしながら、消費動向調査の「暮らし向き」や「収入の増え方」に関する消費者意識については、弱いマインドも表れています。このような状況が長引くなかで、小売業界における水産及び一般食品のカテゴリーにおいては、その動向は低調な状況が続いており、業態を超えた価格競争が続く厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下で、当社グループでは、「コンプライアンス経営」、「品質・安全の追求」、「研究開発の強化」、「海外市場の開拓」に取り組ましました。

コンプライアンス経営に関しては、全ての苦情・クレーム情報等が経営トップにタイムリーに届く体制を強化いたしました。また、品質・安全の追求に関しては、ISO22000認証取得について、2019年春の取得を目指す食品部門の本社工場に加えて、水産部門の鹿児島工場においても2020年春の取得に向けて取り組みを開始いたしました。

また、食品部門の本社工場に関して、主力の皿うどんラインの生産能力の増強及び品質・安全の追求を主眼とした工場新築計画の検討を行ってまいります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高60億7百万円（前年同期比17.7%減）、営業利益2億87百万円（前年同期比19.3%減）、経常利益3億49百万円（前年同期比10.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億7百万円（前年同期比3.9%増）と減収増益になりました。

セグメント別の経営成績を示すと次のとおりです。

①水産事業

主力のエビ飼料類は、一部取引先養殖業者において生産不調等があり、前年同期を下回りました。魚飼料類は受託製造の大幅な落ち込みがあり前年同期を大きく下回りました。

なお、受託製品の販売数量は大きく落ち込みましたが、比較的利益率が高い自社製品の販売数量は前年同期を若干上回りました。また、子会社は順調に推移し配合飼料関連の落ち込みをカバーしております。

その結果、売上高は36億62百万円（前年同期比25.7%減）、セグメント利益は3億59百万円（前年同期比16.1%減）となりました。

②食品事業

食品事業では、主力の皿うどん類は前年並みの売上を確保いたしました。即席めん類は前年同期を下回りました。ラーメン類はPB商品を含め順調に推移しました。乾麺類は前年同期を下回りました。子会社は順調に推移しております。

その結果、売上高は23億45百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益は1億51百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ7億8百万円増加し126億54百万円となりました。これは、主として現金及び預金が3億57百万円減少、受取手形及び売掛金が7億88百万円増加、有形固定資産が1億92百万円増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比べ7億62百万円増加し65億55百万円となりました。これは、主として短期借入金が増加し9億73百万円増加、長期借入金が増加し3億8百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べ54百万円減少し60億99百万円となりました。これは、主として利益剰余金が増加し1億65百万円増加、自己株式が増加し2億28百万円増加したことによるものです。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月10日の「平成30年3月期決算短信」において公表しました平成31年3月期通期の業績予想を修正しております。詳細は、本日公表の「平成31年3月期第2四半期の業績予想と実績値との差異及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,069,104	1,711,229
受取手形及び売掛金	1,646,410	2,434,970
商品及び製品	497,193	639,673
仕掛品	137,370	168,793
原材料及び貯蔵品	994,621	982,929
その他	175,648	125,373
貸倒引当金	△11,718	△12,349
流動資産合計	5,508,628	6,050,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,549,465	1,606,641
機械装置及び運搬具(純額)	718,517	767,593
土地	2,126,315	2,127,540
その他(純額)	161,346	246,065
有形固定資産合計	4,555,644	4,747,840
無形固定資産		
のれん	413,362	377,441
その他	52,226	45,647
無形固定資産合計	465,588	423,088
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,457,244	1,473,931
貸倒引当金	△40,505	△40,505
投資その他の資産合計	1,416,739	1,433,425
固定資産合計	6,437,972	6,604,354
資産合計	11,946,601	12,654,975

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	700,420	820,668
短期借入金	1,924,517	2,897,767
未払法人税等	86,047	111,077
賞与引当金	155,721	112,561
その他	469,549	389,091
流動負債合計	3,336,255	4,331,165
固定負債		
長期借入金	1,678,194	1,369,360
役員退職慰労引当金	474,444	486,722
退職給付に係る負債	85,994	91,112
その他	217,829	277,116
固定負債合計	2,456,462	2,224,311
負債合計	5,792,718	6,555,476
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	4,987,383	5,152,781
自己株式	△28,968	△256,968
株主資本合計	6,020,714	5,958,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	118,760	131,261
その他の包括利益累計額合計	118,760	131,261
非支配株主持分	14,407	10,125
純資産合計	6,153,882	6,099,499
負債純資産合計	11,946,601	12,654,975

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	7,299,080	6,007,361
売上原価	5,791,821	4,560,153
売上総利益	1,507,259	1,447,207
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	230,199	243,993
貸倒引当金繰入額	1,826	630
給料及び賞与	259,714	251,889
賞与引当金繰入額	57,243	47,195
退職給付費用	10,119	15,053
役員退職慰労引当金繰入額	12,130	12,278
その他	580,321	589,076
販売費及び一般管理費合計	1,151,555	1,160,116
営業利益	355,703	287,091
営業外収益		
受取利息	1,350	3,611
受取配当金	4,937	5,273
為替差益	—	17,059
雑収入	38,891	46,763
営業外収益合計	45,180	72,708
営業外費用		
支払利息	8,937	8,123
為替差損	1,263	—
雑損失	920	2,243
営業外費用合計	11,121	10,367
経常利益	389,762	349,432
税金等調整前四半期純利益	389,762	349,432
法人税、住民税及び事業税	159,511	118,389
法人税等調整額	30,245	27,581
法人税等合計	189,757	145,970
四半期純利益	200,005	203,461
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△4,282
親会社株主に帰属する四半期純利益	200,005	207,743

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	200,005	203,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,230	12,500
その他の包括利益合計	26,230	12,500
四半期包括利益	226,235	215,962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	226,235	220,244
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△4,282

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	4,928,588	2,370,492	7,299,080	—	7,299,080
セグメント利益	428,394	161,456	589,851	△200,088	389,762

(注) 1 セグメント利益の調整額△200,088千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費196,477千円、営業外収益4,907千円、営業外費用8,519千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,662,304	2,345,056	6,007,361	—	6,007,361
セグメント利益	359,523	151,613	511,137	△161,704	349,432

(注) 1 セグメント利益の調整額△161,704千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費179,297千円、営業外収益23,654千円、営業外費用6,061千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。